

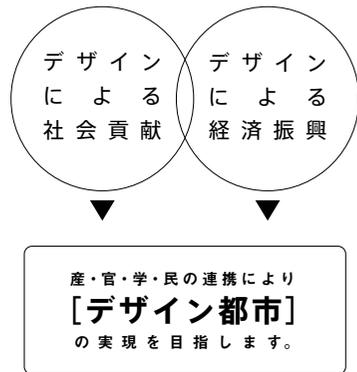
**LDL NPO FUKUOKA  
DESIGN LEAGUE  
ACTIVITIES REPORT  
2008**

# NPO FUKUOKA デザインリーグとは

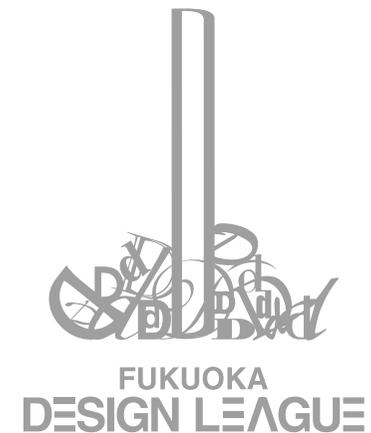
FUKUOKAデザインリーグは福岡市のデザインセンター構想をベースに、1996年に任意団体として発足しました。その後福岡市経済産業局内に事務局をおき、「デザインによる経済振興」を主な目的としてさまざまな活動を続けてきましたが、「デザインを経済のためだけでなく、社会の成熟のために活用する」という大きな使命のもと、2008年に特定非営利活動法人として再スタートしました。

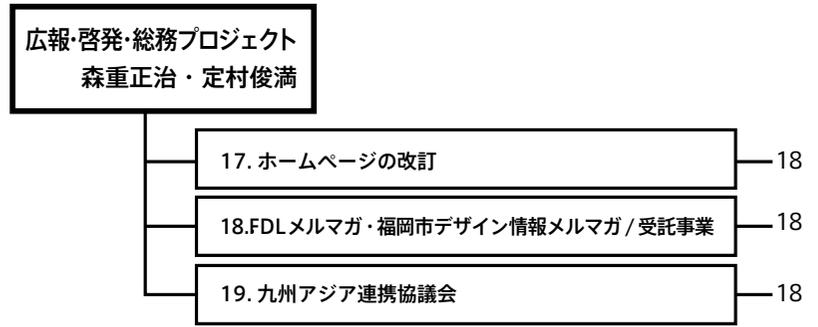
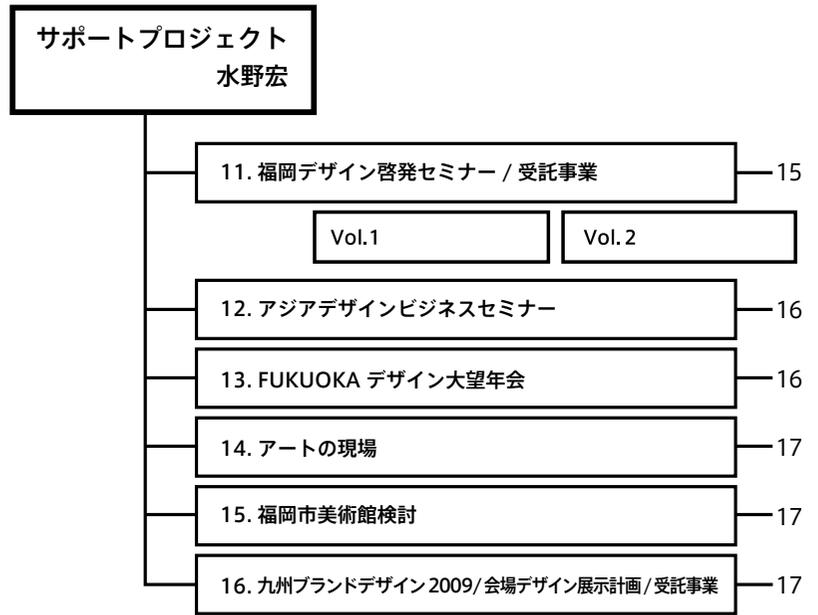
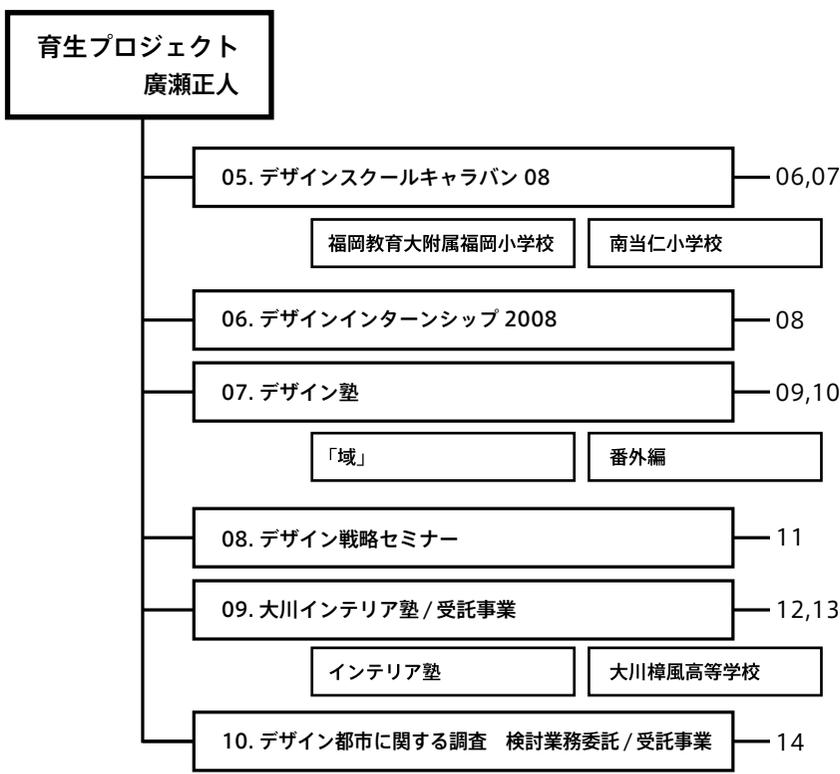
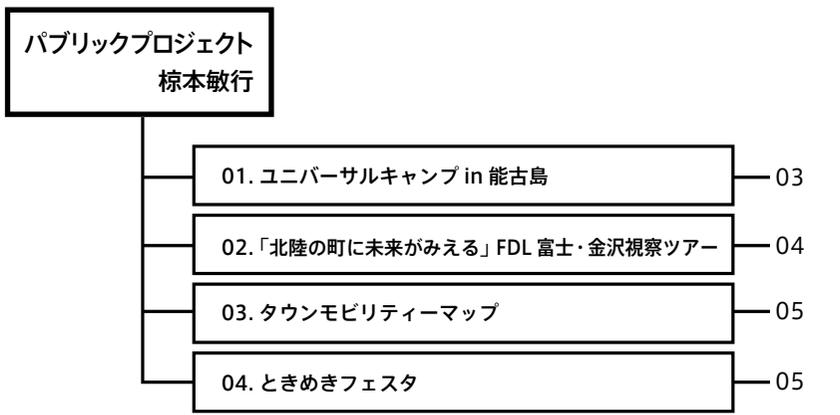
世界はいま環境問題やエネルギー問題など、さまざまな課題を抱えています。そして20世紀初頭にバウハウスでスタートした近代デザインは、「美の提供」から「問題の解決」へと、その能力を大きく進化させてきました。デザインはいまこそその力を企業や経済のためだけでなく、社会のため、市民のために活用しなければなりません。FUKUOKAデザインリーグでは、一人のデザイナーでは対応できない社会の大きな課題に対して、あらゆるデザイン領域を統合したトータルな力で、「市民が豊かに暮らせる社会（デザイン都市）」の実現を目指します。

## NPO・FUKUOKAデザインリーグの活動目的



[デザイン都市]=市民が豊かに暮らせる社会





# 01

## ユニバーサルキャンプ in 能古島

07.19→07.21

FDLでは、NPOユニバーサルイベント協会が八丈島で行っている「ユニバーサルキャンプ」の九州版の開催を2007年度から検討してきました。ユニバーサルイベント協会の方々にも能古島アイランドパークやその周辺を下見していただいた結果、能古島で開催することになり、ユニバーサルキャンプチームを結成しました。

キャンプ前日に台風が接近しましたが、当日は晴天。最初の作業は炎天下のテント張りでした。

3日間のキャンプに用意した多種多様なプログラムのうち、「ダイバーシティ(＝多様性)」では、「音の部屋」「光の部屋」「動きの部屋」「関わりの部屋」の4つのブースを設け、障がいのある人を中心にオーナーになってもらい、オーナーと部屋を訪れたゲストが、日頃聞きたい、話したいと思っていることを語り合いました。

このこのファームでの昼食では、自分たちが収穫した新鮮な野菜がたっぷりのサラダをいただきました。また、夜会は、夜がふけるのも忘れて、お酒を酌み交わし親密に歓談する場となりました。

キャンプの間、飛び交った言葉は「楽しい」「キツイ」「美しい」でしたが、ここで体験したことは、これからの社会生活の中で大いに役に立つことでしょう。

このキャンプが回数を重ねて、社会全体にダイバーシティの認識をひろげる活動となることを願っています。

最後に、キャンプを支えてくださった方々に感謝申し上げます。

レポート／ユニバーサルキャンプ  
プロジェクトリーダー  
椋本敏行



活動DATA  
開催会場：  
能古島アイランドパークとその周辺(福岡市西区)  
開催趣旨：  
すべての人「障がいのあるなし、老若、男女かかわらず」が、キャンプという、少し不慣れた環境のなかで、お互いを「違い」や多様性を含めて「知る」こと、理解することを目的に行なった。

参加者数：  
62名(一般、企業研修、スタッフ含む)。うち障がい者約10名

# 02

## 「北陸の町に未来が見える」 FDL富山・金沢視察ツアー

富山市の環境政策、金沢市の文化政策を学ぶツアー

■参加人数：18名

11.28→11.29

活動DATA  
開催会場：富山市・金沢市  
講師：河原文化政策部長(金沢市)、  
俣野課長(富山市)他

金沢市役所で「金沢市の文化政策」について金沢市文化政策部、河原部長の口から出てくる自信に満ちた、「産業は腹の足し、文化は心の足し」「伝統文化は革新を通じてこそ発展する」「文化は市民生活の質を高めるコンテンツである」などの話には参加者全員が驚きと感銘を受けました。その後、卯辰山工芸工房、金沢市民芸術村、金沢21世紀美術館を訪ね、伝統と革新、人材育成、市民参加のまちづくりなど、金沢の文化の奥深さを確認することが出来ました。

富山市役所では、俣野課長による「環境モデル都市」に選定された背景、実際の施策についてレクチャーを受け、翌日は、あこがれの富山ライトレール(LRT)に乗って「岩瀬浜」で降り、古い町並みを歩きました。「環境モデル都市」の根幹は、富山ライトレール(LRT)を活用したコンパクトシティのまちづくりであり、それは市民を巻き込んだライトレール実現のための企画力、産・官・学・市民協働の取り組み、行政内多部署連携(横割り発想)によって可能になったことという点であり、それは実際の街を見て実感として感じる事が出来ました。そしてきちんとしたビジョンの元にデザインの手でまちを変えようとする富山市の「意思」を感じました。

金沢市、富山市で共通することは、市長のリーダーシップ、決断力、実行力が発揮され、それを行政と市民が一体となって支えているということであり、これは今、最も福岡市に必要なことではないでしょうか？その他富山デザインセンターや金沢美術工芸大学の角谷先生との交流など盛りだくさんの内容でした。金沢市役所の河原部長との出会いはその後、FDLのデザイン都市プロジェクトのメイン講師としての招聘に繋がりが、交流が深まりました。

エコの調査研究

プロジェクトリーダー

長峰 栄子

レポート／ツアー担当

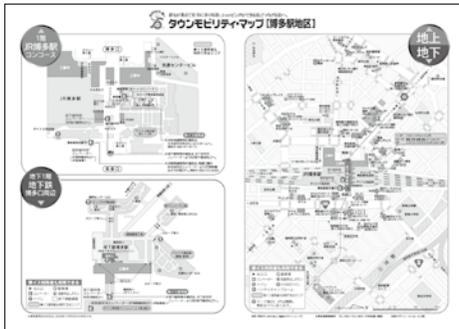
照井 善明



# 03

## タウンモビリティマップ

天神・博多駅・川端エリアのバリアフリー情報（車椅子用トイレ、エレベーター、駐車場、ホテルのハンディキャップルームの有無など）を載せたタウンモビリティマップの発行をしています。会員によるフィールド調査を毎年行ない、FUKUOKAデザインリーグのホームページにアップしています。ときめきフェスタでも揭示、配布を行いました。



09

活動DATA  
開催会場…  
天神、中洲・川端、博多駅周辺

# 04

## ときめきフェスタ

障がい者のひとたちのお祭り「ときめきフェスタ」に共催というかたちで参加しました。内容としてはタウンモビリティマップの揭示と配布、ユニバーサルキャンプの報告パネルの展示と報告書の配布、このイベントに参加した授産施設の商品開発への協力を行いました。新しい試みとして、四つの授産施設の商品開発、パッケージのデザインなどの協力も行いました。



10.09

活動DATA  
開催会場…  
福岡市役所広場

レポート／ときめきフェスタプロジェクトリーダー  
水野宏

# 05

## 小学校デザイン出前授業 「デザインスクールキャラバン08」

11.07/21/28, 12.17  
11.17

デザイン領域の専門性を活かした授業を行い、1団体1クラスを担当してデザインの授業を行いました。授業テーマは「学校のサインをつくろう」「夢の住宅を設計しよう」「ぼくわたしの住みたいまちをつくろう」「商店街をつくろう」「夢のまちをつくろう」「私の家のクリスマス」「エコロボット」「あかりと音」「立体万華鏡」段階ボールで作る組立式の部屋」。

身の回りの「もの」をつくる事を通して、人にとって何が大切で必要なものか、どんな理由でものはつくられているか、自分たちが住むまちはどうあれば良いか等を考えます。住む人、使う人の事を考え、優しさ、思いやりがこもった夢あふれる作品が完成しました。各クラスとも個人の創造力(作品)をもちよりグループ(班)で作品を作ります。そして、そのグループの作品を集めさせると、一つの町や商店街、部屋、学校全体のサイン等が出来上がりました。個人の力が全体を支えている事、そして全体は個人からできている事を体感出来ました。

レポート/スクールキャラバンプロジェクトリーダー  
中牟田 麻弥



活動DATA  
開催会場…  
福岡教育大附属福岡小学校  
1～6年生  
福岡市立南当仁小学校5年生  
講師…  
(社)日本サインデザイン協会、  
(社)日本建築家協会、  
(社)日本商環境設計家協会、  
(社)日本ディスプレイ協会  
(社)日本グラフィックデザイナー協会、  
D+P、  
福岡デザイン専門学校  
アトリエサンカスケール(株)、  
ふくろうの会、  
福岡のインテリアデザイナー達

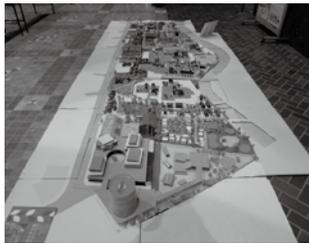
# 05

## 「デザインスクールキャラバン08」 作品発表会

01.27⇒02.08

こども達の作品は、福岡市総合図書館展示室及びロビーにて平成21年1月27日から2月8日の2週間展示が行われました。自分たちの作品がショーケースや大ロビーに所狭しと展示され、つくる楽しさと見てもらう喜び、誇らしさを感じられるものでした。

レポート／スクールキャラバンプロジェクトリーダー  
中牟田麻弥



活動DATA

開催会場

福岡市総合図書館1F

講師

(社)日本サインデザイン協会

(社)日本建築家協会

(社)日本環境設計家協会

(社)日本ディスプレイ協会

(社)日本グラフィックデザイナー協会

協会

D+P

福岡デザイン専門学校

アトリエサンカクスケール(株)

ふくろうの会

福岡のインテリアデザイナー達

# 06

## デザインインターンシップ2008

大学、専門学校を対象に、デザインの現場を体験するための「デザインインターンシップ」を8月より実施しました。

セミナーは、デザインインターンシップに先立ち行なうもので、さまざまなデザイン分野の現場の様子を、第一線で活躍されているデザイナーの方々にお話ししていただきます。またデザインインターンシップ参加にあたっての心構えや、諸手続きについての案内もおこないます。

### 第2部

- 「デザインインターンシップのエントリーについて」
  - インターンシップの概要説明
  - インターンシップ参加への心得
  - インターンシップ参加のための手続きについて
- 参加者 460名程
- インターンシップ受入れ事務所25社
  - インターンシップ申込者68名
  - インターンシップ採用者48名(参加費三千円)
  - インターンシップ期間 8〜9月

レポート/デザインインターンシッププロジェクトリーダー  
大庭 香代子



セミナー:06.26  
インターンシップ:08→09



活動DATA  
開催会場:  
福岡市立中央市民センターホール  
講師:

- 「Presentation1」
- 「CGデザインの現場」
- 原田 慎吾
- (株)ゼネラルアサヒ G A
- DIGITAL GRAPHICS
- クロスメディア制作本部
- CGグループリーダー
- 「Presentation2」
- 「インテリアデザインの現場」
- 今宮 優子
- (公)宮優子デザイン室代表
- 「Presentation3」
- 「アートディレクションの現場」
- 伊東 巨哉
- (デザインスタジオHEAD代表)
- 「Presentation4」
- 「店舗デザインの現場」
- 伊関 良一
- (室内デザインスタジオ代表)
- 「Presentation5」
- 「建築デザインの現場」
- 末廣 宣子
- (エヌ・ケイ・エス・アーキテクト
- 代表)

## 第6回デザイン塾「域」

いま、デザイナーには「○○デザイナー」といった肩書きや分野にとらわれない、トータルな総合的視点からの幅広い能力が求められています。

総合デザインニングの教育の場として、九州内で活動する若手クリエイターを対象に、毎年開催してきたデザイン塾も今回で6回を数えました。第一線で活躍される多ジャンルのクリエイターを講師に迎えて毎回1日ばかりで行なわれる「デザイナー版・虎の穴」。本質に目を向け、真剣にこれからのデザイナーのあり方や、デザインそのものについて考える貴重なプロジェクトとなっています。

また、前回の塾生が次回のデザイン塾の企画・運営を担当する仕組みになっており、今回担当の第5回塾生OBにとっても大きな成長の場であったとともに、貴重な人的ネットワークを築けたのではないのでしょうか。

今回の塾生は少数だったこともあり、まさに虎の穴状態。課題のプレゼンテーションや基本レクチャーでの質疑応答、ワークショップでの成果などレベルの高さが常に求められる中、それによく応えていました。近い将来、彼らが福岡のデザインシーンを大きくリードしてくれるものと感じています。

※第6回デザイン塾塾生が今回のデザイン塾の報告書を作成しました。

ご希望の方は事務局までお問合せください。

レポート/デザイン塾プロジェクトリーダー  
武水 茂久

第6回デザイン塾「域」報告書 表紙デザイン



10.18, 11.1/15, 12.06

活動DATA

開催会場

九州大学 大橋サテライト  
LUNETTE / 九州デザイナー学院 九州デザイナー学院  
/ 株式会社カジグラ

講師

脇山 真治氏 (九州大学 大学院  
芸術工学研究院 教授・博士 (芸術工学))  
松本 哲 (有田焼 弥左工門 第七代目当主)  
梶原 道生 (株式会社カジグラ 代表・アートディレクター)  
藤 浩志 (藤浩志企画制作室 代表・美術家)  
鮎川 透 (株式会社環境・設計工房 代表・建築家)



# 01

## デザイン塾「番外編」

FDL参加のデザイン専門学校生向けの学校の壁をこえたデザイン教育を、デザイン塾「番外編」として実施しました。講師より前もって提示された課題を事前に制作し、当日は講評を行ないます。課題は、原氏自身が実際に武蔵野美術大学3年生にやらせたもの。レベルの高い課題に戸惑ったことと思いますが、各校選抜の学生諸子は意欲的に取り組んでくれました。原氏からの申し出で講評終了後、特別セミナーを予定していましたが、充実した内容のプレゼンとなり、セミナーは割愛。当初予定の2時間を大きくこえる講評会となりました。憧れの原氏から高い評価をうけた学生はハイテンションで、大いに自信をもったことと思います。全体的に予想を上回る仕上がりになり原氏をはじめ、運営側も驚いています。また、原氏のご退場後、急遽行なった合同意見交換会では、学校をこえた学生間の交流が思わぬ盛り上がりを見せました。今回の「番外編」は、今後のデザイン塾を考える上で大きな収穫があり、今後の可能性を感じさせるものとなりました。

レポート/デザイン塾プロジェクトリーダー  
武永茂久



03.14

活動DATA

開催会場:

九州大学大橋サテライト

LUNETTE

講師:

原研哉氏(グラフィックデザイナー、武蔵野美術大学教授、日本デザインセンター代表取締役)

塾生:

麻生工科デザイン専門学校

九州デザイナー学院

福岡デザイン専門学校より22名





# 09

## 大川インテリア塾

今年度で5年目になる大川インテリア塾は、これまで3年間は国の助成で運営されましたが昨年より大川市・福岡県の助成で実施しています。経営者コース、デザイナーコース、高度熟練コースのうちFDLはデザイナーコースに講師派遣を行っています。今年はホテル合宿型で単体の家具からインテリア、建築へと多角的な視野を持つデザイナー教育を行いました。講師に山下設計九州支社長で西日本インテリアプランナー協会会員の河根氏を向かえ「インテリアデザイン概論講座」を行いました。

レポート／大川インテリア塾プロジェクトリーダー  
廣瀬 正人



09.13

活動DATA  
開催会場…  
久留米ホテルニュープラザ  
講師…  
河根一仁(インテリアプランナー協会)

# 09

## 大川インテリア塾 大川樟風高校住環境システム科2年特別授業

10.24

活動DATA  
開催会場：  
大川樟風高校

講師：  
日本建築家協会九州支部  
福岡会  
田中康裕  
照井善明  
廣瀬正人  
水野宏

大川インテリア塾では特別授業として大川市内の高校生に対してデザイン授業を行っています。住環境システム科(旧大川工業建科)の20名の生徒に対し4人の建築家をFDLより派遣。当日は朝から夕方まで1日で住宅デザインを学び最終的には1:500の模型作成までをグループワークで完成しました。学校では住宅設計授業は既存図面のトレースの実施までで、生徒が自由にデザインする授業は行っていません。建築デザインの自由度に生徒達の好奇心の眼が開いたように感じました。

レポート／大川インテリア塾プロジェクトリーダー  
廣瀬正人



# 10 デザイン都市に関する 調査・検討業務委託

チャールス・ランドリーの「創造的都市」に代表される様に、「これまで」と「これから」の都市のあり方が、今、大きな転換期を向かえています。

国内においては、横浜、金沢が嚆矢で、そのめざす方向は文化や伝統、歴史、さらに建築、デザイン、アート等により創造的な人々が集積し、それによって新たな経済活動が生まれるというものです。

今回の調査・検討は、「生活的価値」が国内外から高く評価されている福岡に、「文化的価値」をどのように着目させ、新しい方向性を見いだすか、その結果が、今までに無い、新しい「経済価値」を生み出すというコンセプトでまとめあげた提言書です。

今後、この内容が行政の具体的な施策に反映されていくことを期待するとともに、NPOとしても、その実現の一翼を担っていきたいと思います。

レポート／デザイン都市に関する調査プロジェクトリーダー  
佐藤 俊郎



09.24, 10.06/23  
11.08/18  
2009.03.20  
2009.03.21



活動DATA  
開催会場…  
■公開講座  
福岡市美術館  
■一般公開ワークショップ  
西鉄イン福岡2F(アクロス福岡前)  
講師…  
公開講座  
講演1  
「金沢の文化政策とコミュニティの発展」  
河原清  
(金沢市都市政策局分課交流部長)  
講演2  
「都市戦略の手法ーデザイン、アート、クリエイティビティ」  
仲原正治  
(横浜市創造都市事業本部)

# 福岡市デザイン啓発セミナー

Vol.1

2009.02.13

第1回セミナーは、「公共デザインの新しい試み／西鉄バスのデザイン開発」と題し、デザイン開発ユニット「ダーウィンLLLP」にパネルディスカッションの形態で講演していただきました。生活に欠かせない公共交通機関のリニューアルプロジェクト。福岡という都市の交通網の特殊性や、利用者のためのみならず街の景観としての視点など、地方都市でありながら、日本・世界で1番の保有台数を誇る西鉄バスのデザインのあり方を論じていただきました。提案のコンセプトやプレゼンテーション段階の秘話、デザイン開発における苦労など当事者ならではの視点に加え、発注者の西鉄バス担当者からの発言もあり、有意義な話しを聞くことが出来ました。悪天候にもかかわらず、定員以上の参加者があり、都市生活に密接に結びついたバスのデザイン開発に対する興味の高さが伺えました。



活動DATA  
開催会場…九州大学ユースサイエンス機構サテライト「ルネット」1階講師…ダーウィンLLLP ●パネラー 松岡 恭子(建築家) 平松 聖悟(グラフィックデザイナー) ●コーディネーター 原一真(プランナー) ●コーディネーター 鮎川 透(建築家)



# 福岡市デザイン啓発セミナー

Vol.2

2009.03.13

第2回セミナーの表題は、「日本のデザインの原像」。日本人が古来より持ってきた伝達への美意識や感受性を「エンブテイネス(空白)」という概念で解説。多様性を受容する感性が結実している事例の紹介や、シンプルとは根本的に違うエンブテイナ表現がもたらす効果など、実例を提示いただきながら、日本人が持つ「感性」の源をデザインの視点から論じていただきました。昨年、サインデザイン大賞を受賞した『SENSEWARE』展のサイン計画や、サントリー学芸賞を受賞し、世界各国で翻訳されている『デザイン』の執筆など、大人気の原氏の講演とあつて定員500名を大きく越える申し込みがあり、当日も多くの立ち見者がありました。質問時間も多めに設定したにもかかわらず、質問が相次ぎ定刻を越えても収まらず、途中で閉めざるえない状況でした。日本人が持つ感性の源を原研哉流デザインの視点で論じていただき、自信を失いがちな昨今にあつて、日本人が持っているポテンシャルの高さを認識できる素晴らしいセミナーになったのではないのでしょうか。



活動DATA  
開催会場…福岡市立中央市民センター3階ホール講師…原研哉(グラフィックデザイナー)



# 12

## 第4回 アジアデザインビジネスセミナー ～デザインを活かした魅力ある都市づくり～

～デザインを活かした魅力ある都市づくり～

09.19

第4回  
アジアデザインビジネスセミナー  
～デザインを活かした魅力ある都市づくり～

日時 2008年9月19日(金)  
17:30～19:45

会場 九州大学北九州キャンパス2号館の  
大講堂(〒812-8601 福岡県北九州  
市小倉区大倉1丁目6-27)  
(内覧会・受付時間:9時～17時)  
TEL:093-834-3979  
http://www.kyushu-u.ac.jp/~design/

参加費 無料

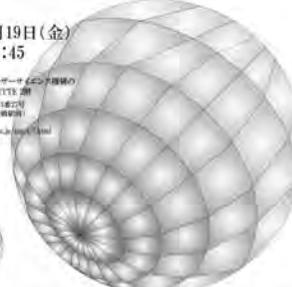
講演  
17:30～18:00 「進化するソウルの都市開発と  
建築デザイン」  
姜 炳 烈 (Kang, Byung-ryul)  
慶応大学 建築学 建築学 教授

18:00～18:30 「南京キヤンパル開発にみる  
中国の商業開発モデル事情」  
平塚 則明 (Nakatani, Noriaki)  
福岡県株式会社 福岡多摩ビル 建築部 部長

18:30～19:45 質疑応答

SEOUL & NANJING

主催:九州大学建築院 本報/NPO法人FUKUOKAデザインセンター  
協賛:アジアデザイン勉強会/九州大学建築工学科研究院



活動DATA  
開催会場:  
九州大学ユーザーサイエンス機  
構サテライト「LUNETTE  
2F」

講師:  
姜 炳(龍仁) 芸術大学 産  
業デザイン学科 教授  
平塚 則明(福岡地所株式会社  
開発事業本部 建築部 部長)  
参加者: 38名

# 13

## 第11回FUKUOKAデザイン界 合同大望年会 2008 テーマ「スマイル」

12.11

活動DATA  
開催会場:  
ホテル イル・パラッツォ  
B1Fクロッシングホール  
参加者:  
吉田 宏(福岡市長)、他  
主催:  
デザイン都市を創る会  
共催:  
福岡県産業デザイン協議会  
NPO法人FUKUOKAデザ  
インリーグ

- デザイン屋台  
デザイナー達が趣向をこらして屋台を運営します。15団体が参加。すぐれた屋台には大賞が贈られました。(1位 2位 3位)
- 仮装大賞  
デザイナーや来場者が奇抜で楽しい仮装を行いました。来場者による投票で仮装大賞を決めます。
- チャリティオークション  
著名なデザイナーの方々への協力による希少価値の高い商品や作品などのレアなオークション。売上はチャリティへ。
- 豪華景品抽選会  
多くのメーカーさんの商品協力による大抽選会。

レポート/大望年会プロジェクトリーダー  
児島正明



# 14

## アートの現場「FUKUOKAデザインミュージアムがあったらいいな」展

04.24→06.06

活動DATA  
開催会場…  
福岡県立美術館

福岡県立美術館では春と秋の年二回「アートの現場」という企画展示を毎年実施しています。一昨年FDLは県立美術館より委託され、県美の未来ビジョンを探るワークショップを開催しました。その縁で春のアートの現場をFDLと県美が共催することになりました。FDLが任意団体からNPOへと脱皮しようとしている時期の企画であり、FDLの活動を紹介する場ということで長年続けてきた「福岡のデザイン100」を展示の中心におき、連続5回のワークショップを通じて市民の皆さんとともに福岡のデザインを考える「デザインミュージアムがあったらいいな」展が開催されました。会場では九州新幹線の座席の現物や福岡のデザイン100で顕彰された貴重なクラフト作品が展示された。また展示以外に長谷川法世氏や筒井がんご堂氏をお招きし、博多や九州のデザイン文化の土壌を語り、子ども達と楽しいデザインワークショップ、トークショー、視覚障がいや聴覚障がいをお持ちの皆さんと一緒に美術館のユニバーサルデザインを考える連続ワークショップ等もおこないました。

レポート／アートの現場プロジェクトリーダー  
廣瀬 正人



# 15

## 福岡市美術館検討

この検討は、デザイン都市に関する調査・検討の一環として行われたものである。現在の美術館は、1979年に前川国男によって設計されたものであり、30年を経て、大規模改修が予定されている。この30年間、美術館の考え方も大きく変化し、重厚感よりも軽快な表現が好まれ、プログラムも周辺を取り込み使いやすさ、気軽さが求められている。この状況で、建築の大規模な改修ではなく、機能を転換し、柔軟な運営を行う事で、より魅力的な美術館へ転身する提案をおこなっている。

レポート／福岡市美術館検討プロジェクトリーダー  
佐藤 俊郎

# 18

## 九州・ブランドデザイン2009 福岡産業デザイン賞10周年企画展示

2009  
01.28→02.02

福岡産業デザイン賞が今年(08年)で10回を向かえ企画展を開催する運びとなり、福岡県産業デザイン協議会より、告知・開催要項・展示会場の基本設営を受託しました。企画展には九州各県からも企業参加も頂きました。福岡産業デザイン賞の10年間の受賞作品の資料や歩みを紹介しながら、受賞企業のデザインと工夫がなされた商品の展示に、来場者数は1週間で1000名を超える大反響となりました。準備期間が短かったですが、無事に終了しました。

レポート／九州ブランドデザイン2009会場デザイン展示計画  
プロジェクトリーダー  
兄島 正明



### 活動DATA

開催会場…  
アクロス福岡 西ウイング  
2F 交流ギャラリー  
講師…  
記念セミナー 日経デザイン  
編集長 下川一哉氏  
主催…  
福岡県・福岡県産業デザイン  
協議会 地域力連携拠点ふくおかIST

協力…  
NPO法人FUKUOKAデザインリーグ 福岡産業デザイン賞10周年企画展・  
記念セミナー 日経デザイン  
編集長 下川一哉氏  
トークセッション  
池田 美奈子氏・  
かねこしんぞう氏  
企画展示出展企業58社

# 17 ホームページの改訂

本年度は当会の基本情報の更新にとどめた、改訂をおこないました。

また、イベントの告知や報告などの情報発信を行いながら今後のホームページのあり方を検討した1年でした。

レポート／プロジェクトリーダー  
森重正治

# 18 FDLメールマガジン 福岡市デザイン情報メールマガジンの配信事業

## ■FDLメールマガジン

FUKUOKAデザインリーグ自主事業や、団体会員の自主事業、大学・専門学校などのイベント、民間のデザイン関係情報を配信しました。

□発行数 100号(No.679)～No.778)

□購読者数 969名(77名増)

## ■福岡市デザイン情報メールマガジン

現在のFDLメールマガジンのメルマガ購読者に、福岡市からのデザイン関連情報メールマガジン「福岡市デザイン情報」も配信しています。行政など公的機関関係で「デザイン」を幅広くとらえた情報発信をしました。

□発行数 33号(1号～33号)

□購読者数 954名(73名増)

レポート／プロジェクトリーダー  
岡真由子

# 19 九州アジアデザイン連携協議会

当協議会は産学官民の連携事業を通じて産業と文化の国際交流をおこない、さらに九州をアジアにおけるデザイン分野の拠点とすることを目的に、平成20年9月に設立されました。会員は事業連携会員(具体的な事業を行う会員)として、九州大学的財産本部、九州大学芸術工学院、九州大学統合新領域学府、ユーマー感性学専攻、およびFUKUOKAデザインリーグ、さらに協力支援会員として九州経済産業局、福岡県、福岡県産業デザイン協議会、福岡市、社団法人九州経済連合会、福岡商工会議所、日本弁理士会九州支部で構成されています。協議会は今後各会員の連携により、「デザイン力強化」調査・研究・評価「交流促進」等のさまざまな事業を展開していく予定です。ご期待ください。

レポート／プロジェクトリーダー  
定村俊満

# N P O F U K U O K A

## デザインリーグ会員名簿

(2009.3.31現在)

### 団体会員

- (社) インテリア産業協会 九州支部
- (社) 日本建築家協会 九州支部福岡会 (J I A)
- (社) 日本グラフィックデザイナー協会福岡地区 (J A G D A)
- (社) 日本サインデザイン協会九州地区 (S D A)
- (社) 日本環境設計家協会九州支部 (J C D)
- (社) 日本ディスプレイデザイン協会九州支部 (D D A)
- 日本デザインコンサルタント協会 (J D C A)
- 福岡アートディレクターズクラブ (A D C)
- 福岡インテリアコーディネーター協会 (F I C A)
- D + P
- (社) 日本インテリアデザイナー協会九州事業支部 (J I D)
- (特非) デザイン都市プロジェクト
- 福岡県産業デザイン協議会
- 麻生建築&デザイン専門学校
- 九州デザイナー学院
- 日本デザイナー学院
- 福岡デザイン専門学校
- 株式会社ジーエークレアス(キンコーズ)
- 株式会社クネット・ジャパン福岡支社
- 有限会社ファーストデザイン
- 株式会社ゼネラルアサヒ
- 福岡DC株式会社

### 個人正会員

(50音順)

- |       |       |
|-------|-------|
| 阿武 寿志 | 戸塚 眞理 |
| 今宮 優子 | 照井 善明 |
| 岩田 憲明 | 長峰 栄子 |
| 内田 正宏 | 野口 恵庸 |
| 穎原 澄子 | 橋爪 大輔 |
| 川崎 泰秀 | 吹上 剛一 |
| 岸本 泰洋 | 松丸 順子 |
| 木下 浩市 | 松丸 宗裕 |
| 佐木川 舞 | 眞子 弘治 |
| 嶋本 和夫 | 馬渡 秀公 |
| 正田 美加 | 水口 敬司 |
|       | 吉田 寛史 |

団体賛助会員

株式会社正興電機製作所

博多装工株式会社

福岡県民共済生活協同組合

株式会社イトーキ

本多機工株式会社

九州電力株式会社

学生賛助会員

小西 圭介

事業サポーター

株式会社ジーエータップ

株式会社ピー・エー・デザイン

水口 敬司

役員名簿

理事長  
水口 敬司

理事  
松野 國一

副理事  
定村 俊満

理事  
梶原 道生

副理事  
佐藤 俊郎

理事  
佐藤 南海男

専務理事  
廣瀬 正人

理事  
林 宏治

理事  
河村 雄三

理事  
和田 史穂

理事  
椋本 敏行

理事  
大庭 香代子

理事  
森重 正治

理事  
金子 真三

理事  
金子 洋伸

監事  
川崎 泰秀

監事  
嶋本 和夫

# NPO FUKUOKA

## デザインリーグ2008を終えて。

FUKUOKAデザインリーグ副理事

佐藤 俊郎

NPO法人となって活動をおこない、1年  
が終わりました。

任意団体当時から引き継がれた事業も多  
く、実質的な変化がどのようなものであつた  
か、なかなか体感できない部分もあります。

しかし、原則プロジェクトごとに収支計画  
をたて、スケジュールを管理する方法は、責  
任と同時にメリハリをもたせ、スムーズな運  
営の方向に向かっていると思います。

また、活動を通して行政との信頼関係が構  
築され、当初われわれがめざしていた、個人  
では不可能でも団体で可能となる社会的  
デザインの推進とその意義がメンバーのな  
かに確実に認識されつつあると思います。

経済的混乱と、社会的不安定さの中で、さ  
らにNPOを超えて、社会的企業、つまり経  
済的な自立と、地域への利益還元をめざす、  
さらなる目標へのモデルとなる1年であつ  
たと思います。



デザイン/ディライト

編集/FUKUOKAデザインリーグ

2009年8月発行

NPO FUKUOKAデザインリーグ

福岡市南区大橋1丁目3番27

九州大学大橋サテライト内

電話 092・551・0825

ファックス 092・405・0825

E-mail: fdjmu@fdesign.gr.jp

URL: http://www.fdesign.gr.jp





# NPO FUKUOKA DESIGN LEAGUE ACTIVITIES REPORT 2008



NPO FUKUOKA DESIGN LEAGUE

head office : 1-3-27 Ohashi Minami-ku Fukuoka-City Japan 815-0033 TEL : +81-92-551-0825 FAX : +81-92-405-0825